



著者プロフィール

安里琉太（あさと・りゅうた）

1994 年、沖縄県生まれ。

2020 年より句作開始。

銀化・群青同人。等

〈句集『式日』より転載〉

〈2020 年 2 月 29 日時点〉

『式日』（自選15句）

安里 琉太

春曉や何の忌となく雨が降り
蜘蛛の囲に花の連なる涅槃かな
魚族のうすあさぎなる涅槃かな
ひよるひよると鳥のうからが花の中
こもりくの田に遊ぶ独花まみれ
摘草やいづれも濡れて陸の貝
竹筒やぼろぼろ出づる春の蟻
飴もらふ長閑なる日の岸にゐて
蛇莓川瘦せてより濃く匂ふ
貼りつきし花びらの朱に蛭乾く
羅漢らの永きつれづれ花棟
登りきて涼しき景となつてゐし
残夢かな花たちばなを雨の打つ
金蠅や夜とほし薄の崩れ去る
湯渡して蓮見のこゑの中に立つ